

事業名： ①大広田ふるさと祭り ②大広田「音楽祭」

◆事業の目的とその内容

- ①コロナ禍においても、イベントを通じて住民相互の交流を図り、地域の活性化推進を図る。
- ②プロの演奏家による音楽に触れ合う機会を作り、また、地元の中中学生による発表の場を用意し、北部校下全体の交流の場とする。

◆事業の流れ

実施日	活動名	講師・助言者等の職・氏名	参加人数(うち子ども)
11月6日(日)	はしご車・パトカーなど緊急車の展示と乗車体験	大広田校下ふるさとづくり推進協議会 会長 岡本 孝行 富山北消防署	500名(80名)
11月6日(日)	ステージ発表 (プリティキッズ) (県警音楽隊)	大広田校下ふるさとづくり推進協議会 会長 岡本 孝行	500名(200名)
11月6日(日)	講演「健康講座」 ・生活習慣病の予防について	北保健福祉センター 保健師 大嶋 美里氏	100名(0名)
11月13日(日)	演奏会 ・ウィークエンドコンサート	エンジェリズム	200名(150名)
11月13日(日)	演奏会	北部中学校吹奏楽部	200名(150名)

◆事業の様子

☆富山県警音楽隊を招き、迫力ある音楽を堪能した。屋外でははしご車乗車体験や緊急車両の展示を行い、ステージ発表では校下で活動しているサークルによる発表の場を設け、日ごろの練習の成果を披露した。たくさんの方たちの前で発表をする機会がなかったので、出演者にも喜んでもらった。

北保健福祉センターから保健師を派遣してもらい、健康講座を開催し、健康を維持するための食事メニューなどを教わった。

☆音楽祭では、ウィークエンドコンサートと地元中学生の吹奏楽部の演奏を合同で行った。プロの演奏家の素敵なパフォーマンスを身近で感じることができた。

◆事業の成果など

コロナ感染症の影響でいろいろな事業が開催できなくなっている中、従来公民館で開催していた「文化展・健康展」の会場を広くして住民が少しでも安心して来場できるようにした。チラシを全戸配布し、広い世代に呼び掛けたことで、地域交流の場を提供することができた。

中学生の演奏は発表の場を制限されていたこともあり、この音楽祭が保護者も含め、とても楽しみで励みになったと言ってもらい、地域の垣根を越えた交流の場を作ることができた。

